

介護が必要になったとき、 あなたは、どうする？

～介護保険と在宅介護——ヒアリング調査から見てきたこと～

いま、私は元気。連れ合いや親たちも元気。“介護”なんて他人事^{ひとごと}……。そんな風に思っていますか？ そんなあなたに“介護”が突然やってきたら…さあ、あなたは、どうする？

単身や高齢夫婦だけの世帯の増加など、家族の形が大きく変容しているにもかかわらず、再び在宅介護が言われ出したいま、“介護する・介護される”は、明日起こるかも知れないあなた自身の問題です。他人事ではないのです。

当会では、2013年度の「介護保険制度の“生活援助”に関するアンケート調査」に引き続き、今年度は前回調査で十分に掘り起こせなかった点を中心に、125名*の方々の協力を得てヒアリング調査を行ない、介護が必要になった“暮らし”の問題点を分析しています。

(*要介護認定者・介護経験者・介護保険被保険者・介護労働従事者の4群、各30名余、男女ほぼ同数)

今回のパネルディスカッションでは、①まずヒアリング調査の報告、②次いでパネリストの皆さんそれぞれのお立場からヒアリング調査へのコメントをいただき、③そのあとは、縦横無尽のディスカッション。その結果は地域に発信し、提言活動に繋げていきます。是非ご参加ください。お待ちしております！

2016年 **3**月**12**日(土) 13:30~16:30
(受付 13:00~)

■ パネリスト： 結城 康博さん

淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授
元厚生労働省社会保障審議会 介護保険部会委員

井上由美子さん

元城西国際大学教授・厚生労働省社会保障審議会介護保険部会委員・NPO 法人 高齢社会をよくする女性の会 理事

福井 英夫さん

元大津市役所介護保険担当職員
街なか居住研究会準備会

■ ところ： P L P 会館（一般社団法人 平和と自由と繁栄の会館）（定員 96 名）

(裏面地図参照)

■ 参加費： 一般 500 円 ・ 会員 300 円

■ 申込先： 「高齢社会をよくする女性の会・大阪」事務局（申込用紙は裏面）

主催：高齢社会をよくする女性の会・大阪

